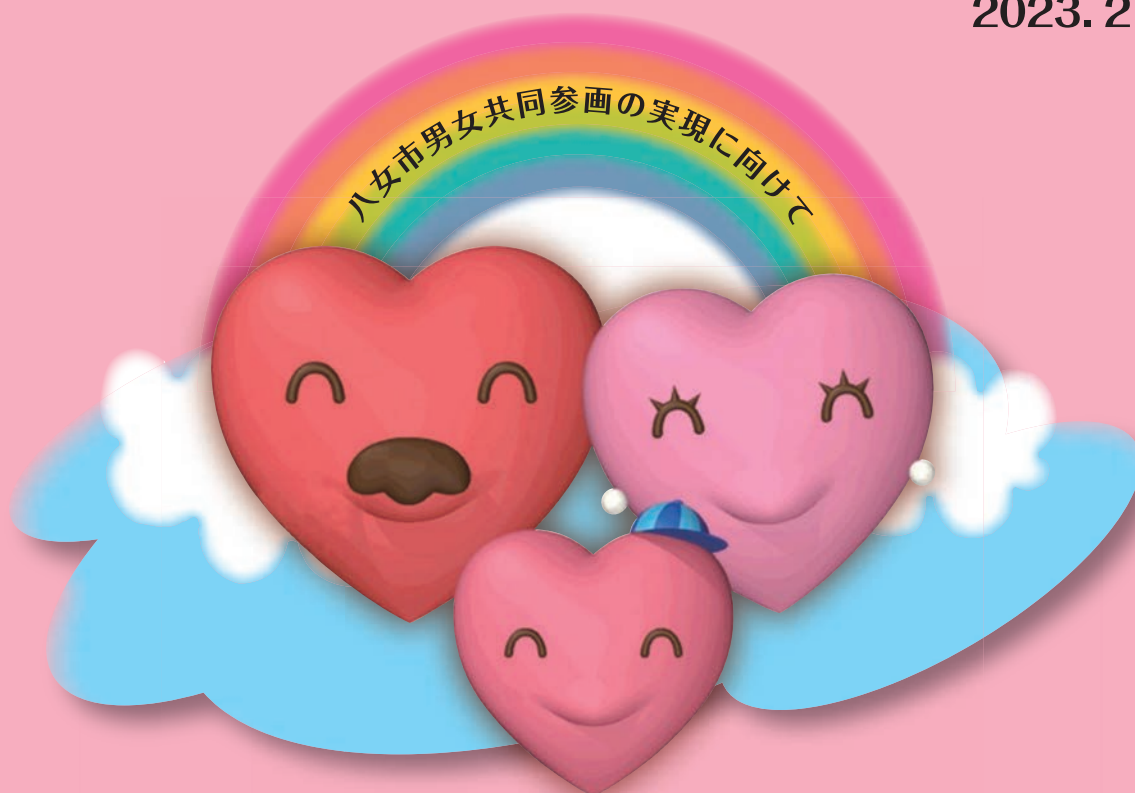


# 個性が輝く まちが輝く

## とっぎゃざー

みんな仲良く一緒に

2023. 2. 第28号



### よかひとリレー

内田理絵さん (八女市) にインタビューしました! ..... 2~3

☆男女共同参画推進まちづくり団体活動報告 ..... 4~5

☆女性のためのチャレンジ講座・編集後記 ..... 6



情報誌「とっぎゃざー」は、男女ともに個性と能力が十分に発揮できる八女市を願って名付けました。

発行：こらぼれーと※(八女市男女共同参画情報誌編集委員会)  
八女市 人権・同和政策・男女共同参画推進課 ☎0943-23-1314

※こらぼれーと (共同)  
情報誌を編集するメンバーのグループ名です。よろしくお願いします。



新型コロナウイルスによる  
人権侵害をなくそう!

正確な情報に基づく、冷静な判断と正しい行動を心がけ、  
新型コロナウイルスの悪影響を断ち切りましょう。

「ほたと石橋の館」館長

内田 理絵さん



# よかひと リレー



## プロフィール

昭和55年神戸市生まれ。神奈川県育ち。14歳の頃父の転勤で北九州市へ。平成16年に初めて八女市上陽町を訪れ、平成17年に「ほたと石橋の館」勤務になり本格移住。現在、館長の他に上陽ほたるの会・八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会・爺婆でガンバル協議会の事務局を務め、住民・企業・行政と協働し、まちづくり活動が続いている。上陽茶の魅力に惹かれ、日本茶インストラクターの資格を持つ。



——上陽町に関わるようになってきたきっかけを教えてください。

友人に誘われ「ふるさとわらべ館」へ遊びに行ったところ、夏休み前で人手が足りないから2〜3日手伝ってくれないかと声をかけられ、2〜3日が1週間、1週間が1か月となりました。その後、「ほたと石橋の館」のスタッフ補充のため平成17年12月から働き始めました。

——上陽町の良いところを教えてください。

星野川、ホタルなど自然が豊か。お茶が美味しく今まで飲んでいたお茶とはまるで違いました。でも一番の魅力は「人」ですね。心が温かい。

——「ほたと石橋の館」の紹介をして下さい。

八女市指定管理施設で館内にはホタルと石橋に関する展示や地元特産品等を販売しているショップ「茶彩館」があります。

——イベントや行事の企画が上手だなと思います。アイデアに女性の視点が活かされていることがありますか？

栗拾いや栗饅頭づくり等の季節の収穫体験。季節限定のパフェなどの販売。春秋の力ヌー体験。マルシェやコンサートなどを開催しています。でも女性の視点だからとは特に感じていません。

——館長になられたきっかけや得たことを教えてください。また、どのような価値があったと思いますか？

元々館長の役職はなかったのですが、スタッフのうち経験が一番長かったからです。仕事内



YAMEHAPI2022



「ほたと石橋の館」



寄口橋のそばで川遊び

容が変わったわけではありませんが。ずば抜けた能力があるわけではなく、支えていただいている周囲の方々のお陰でこれまで続けることができました。上陽での経験がかけがえのない宝物です。

——3つの会の事務局をされています。それぞれの活動を教えてください。まずは上陽ほたるの会からお願いします。

平成24年の九州北部豪雨がきっかけで作られました。上陽北浜学園3年生の総合学習の支援としており、教室の前の廊下で一定の期間ほたるの幼虫を育て、人工のせせらぎ水路に放流



する取り組みをしています。

——八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会について教えてください。

石橋の除草作業などのお手伝いをしています。人に誕生日があるように石橋も祝ってあげたいという日本の石橋を守る会前会長の発言が後押しとなり、大瀬橋・寄口橋・宮ヶ原橋の100周年事業をそれぞれ行いました。来年には洗玉橋が130年になるので誕生会をする予定です。全国の皆さんと交流があり励みになります。

——爺婆でガンバル協議会について教えてください。

14年程前に立ち上げて、皆さんのがんばっている姿が自分の原動力になっています。ひまわりを育てる活動をしていて、種を収穫し、油を搾ってひまわり油を作っています。今では、まちづくり協議会の活動にまで広がっています。

——男女共同参画の視点から、これまでに内田さんが感じたことがあれば教えてください。

自分にできない大型の機械の操作などは男性にやってもらっています。自分が小さい頃はあまり女性が活躍する時代ではなかったと思いますが、今では役職についている人もたくさん知っています。これからもだんだん変わっていくのではないかと期待しています。

——将来、「ほたると石橋の館」をどうしたいか、考えはありますか？

上陽にルーツがあるダニエル・建・イノウエさんの胸像が昨年の3月に建立されました。八女市とハワイの交流の場になってくれればと思います。来年度に館の改修工事が予定されています。楽しみにお待ちください。



星野川でカヌー体験



宮ヶ原橋 100年記念

## 男女が輝くネットワークやめ

市議会との意見交換会

9月21日(水) 於：立花支所

## 「八女市の女性参画について」

西村 直樹

出前講座



「八女市の女性参画について」をテーマに市議会議員との意見交換会を議会の全員協議会室で行いました。

コロナ禍もあり3年ぶりの開催でしたが、平日昼間にもかかわらず総務文教常任委員会と厚生常任委員会に所属する議員9名と男女が輝くネットワークやめ会員と加入団体会員の16名が出席しました。

あいさつ・自己紹介の後、下川京子代表の提言(少子高齢化による人口減少など八女市が抱える問題と解決のための方策、地域における男女共同参画の推進)があり、意見交換が進められました。

女性の市議会議員や農業委員の数が少ないこと、各分野における女性の参画について意見が多数出ました。他には、八女市男性職員の育児休暇取得が令和3年はゼロ、過去5年間で3人という状況は少ないこと、家庭・



職場・地域における性別役割分担意識の徹底などの意見が出ました。

今後は組織に対する要望書などの提出を考える必要があるのではないかと来年度も引き続き開催していきたいと思います。

ていくばあと(八女市男女共同参画地域づくり実行委員会)

## 絵本の読み聞かせ

11月29日(火)  
於：上陽学童保育所

小川 栄一



私たちは、発足以来、紙芝居を自作し、老人クラブ・町内会・同じ目的を持つサークルなどを訪問して上演してきました。

最近は絵本の読み聞かせも始めました。

一冊目 『みんなちがって：』  
伊藤美希さん作・絵

当時小学校三年生の美希さんが書いた絵本です。木登り好きなきみえさん、お料理上手なけいちゃん、なんでも青色えらぶれい子さん、なきむし太郎さんはお花をさかせるやさしい子、などなど。私達がいまだに持っている固定化された男女のイメージをユーモアに富んだ発想で多様な男女のイメージへと変換してくれるのです。

もう一冊は、『しげちゃん』  
女優の室井滋(むろい しげる)さんが、自分の名前で男の子に間違えられてしまう実体験を基に著した作品です。からかわれて嫌だと思っていた名前に、生まれてすぐに亡くなった



お兄ちゃんの方も生きて欲しいという両親の願いが込められていることを知り、さらに滋養の滋(しげる)には、『よいことも、わるいことも、なんでも勉強になつて栄養がいっぱい』という意味がある」と知って嫌でなくなった話です。

聞き終わった子ども達が次々に自分の名前の由来を発表し出したのには思いがけずびっくりしましたし嬉しかったです。子どもたちには、人間と社会のダイバーシティ(多様性)を素直に受け入れて、その上で自分らしさを発揮して元気に生きて行つてほしいと強く願います。

## 上陽町男女共同参画推進委員会

### 上陽町男女共同参画セミナー

## 「必要とされる喜び」

10月29日(土)  
於：上陽公民館

井上 勝彦

大分県鷹鳥屋神社宮司の矢野大和さんをお招きし、講演会を行いました。

「必要とされる喜び」と題した講話。講師の体験を交えた話で、家庭や地域での関わり合いについて再認識することができました。

・家庭内での高齢者の立場では、得意とする分野を任せられることにより、必要とされていると思うことができ、それによって生きがいを感じることができるようになる。

・日本の高齢者はもっと自信を持って自分が社会の一員であることを自覚し、社会に役に立てることを考えてほしい。その第一歩が教育(今日行く)と教養(今日用)。今日行くところがある。今日する用事がある。それが社会参加につながり、認知症予防にも繋がる。



・家庭や地域においても、相手が納得した分業を行う。

・地域で災害が起こった時のために、高齢者の誘導をどうするかなど、日ごろから声を掛け合うなどコミュニケーションをとっておく。

インターネット社会になり、コミュニケーション不足を真剣に考える必要性があることなど、日常生活で経験している事例をあげながら、終始笑いの絶えない講演をしていただきました。

## 星野地区男女共同参画推進委員会

### 男女共同参画市民企画講座

## 笑顔で語ろう男女共同参画

11月26日(土)  
於：星野支所

中津留 千鶴子

アマチュア落語家の粗忽屋勘心さんを迎え、口演を頂きました。

出囃子の太鼓の軽快な音楽に乗り登場した勘心さん。さすが話術の達人。小噺で次々に笑いをとると、会場は即席の寄席に。

自己紹介を兼ねてこれまで訪れた老人ホームでの一節や小学校での小噺エピソードを。「型にはまらず、気楽に聴いてください」とやさしい口調でおもしろおかしく始まり、親子で禁酒をする小噺では、さすが落語家さん。酒の飲みっぷりと親子の掛け合いの巧妙さ。楽しい時間は笑顔でいっぱいでした。

男女共同参画についてのお話では、日本人と外国人の考え方の違いなどもわかりやすく小噺に。

最後に名物キャラクターの与太郎の小噺を一席。間の抜けた夫を妻が地元の医者のお家に礼の使いに出す内容。頼りないが

憎めない性格の与太郎を周囲の人が理解し、温かく見守る言葉のやりとり。「正直でまっすぐなあなたが大好きだ」と言う医者の言葉に頷いたり笑ったり。落語を聴いて「笑って」健康的になり、他者への思いやりを落語を通して学ぶ事ができました。



## 女性のためのチャレンジ講座

### 「輝くあなたのための 歩きかた講座」

#### 「バラ色の人生を生きよう」(全4回)

於…べんがら村

令和4年7月14日～8月4日



女性が自分に自信を持ち、新しい分野への挑戦や、ステップアップを目指すことを目的として講座が開催されました。4回の連続講座に、40～70歳代までの女性15人が参加し、講師でラヴィアンローズ 永野貴美恵さんの指導の下、ウォーキング、美しい姿勢、自己表現、言葉遣い、人生の生き方、未来予想図などを楽しく学びました。講座終了後も情報交換が続き、プチ同窓会も開かれ、学びだけではなく仲間づくりもできたようです。講座のあと、新しいことや資格取得に挑戦した方もいます。



小さな一歩、大きな一歩を踏み出すきっかけをつかまれたようです。「受講をきっかけに、一度の人生、社会との関わりを大切にしたいと思った」という感想もありました。これからの生き方を見つめるチャレンジで、みなさん一歩前へ踏み出されたようです。どんなバラ色の人生を歩いて行かれるのか、これからの活躍が楽しみです。

ボランティアで、病院などでピアノの演奏をしている。

やりたいことを見つけ、イキイキと暮らしている。

おひとり様、みんなと過ごす時間をそれぞれ楽しんでいる。

健康で感謝する心を持ち、自分らしく生きている。

人生設計を楽しんでいる。

いろいろなところに出向き、胸を張り、堂々と意見をのべている。

### 受講生の 1年後の未来予想図

美しい八女を子どもたちに残すために「八女発地球を守り隊」の活動に取り組んでいる。

歩き方も人生も15度上を向いている。

八女にもなじみ地域で活動している。

きれいな言葉で話している。

料理や字が上手くなっている。

高齢の親のサポートと仕事を両立しながら、余暇を楽しんでいる。

きりっと背筋の伸びた女性になっている。

## 編集後記

3年ぶりに矢部祭りが開催されました。次女が生まれた21年前に育児サークルを立ち上げたのを機に、仲間と共に祭りに様々な形で参加するようになり、現在の「コロッケと飲み物販売」になりました。以前はじゃがいも作りからしていました。今はお姑さんに手伝ってもらっています。コロッケを2000個作っていました。今年も時短対応のため1000個。ありがたいことにあっという間に完売！お茶・コーヒーマ・ココアは、合わせて480杯ほど買っていました。

ご来場くださった皆さんおひとりおひとりと触れ合いできなかったのは残念でしたが、笑顔で接客でき、2日間楽しかったです。感慨深いのは、子どもの頃、何回も並んでコロッケ買ってくれた子が、友人や家族を連れて「来たよー」と、買いに来てくれたことです。みんなの笑顔がたまらなくいいですよ!!

私にとって祭りとは、皆の笑顔が見れること。出来るならば、おばあちゃんになっても、毎年変わらず笑顔で皆を迎えたいです。

栗原チカヨ